

柴田大使による令和6年度補正予算（TICAD パッケージ）「農業監視・助言システム強化プロジェクト（SAMAS）」開始式への参加

柴田大使は、世界食糧計画（WFP）が主催したソマリア州の州都ジジガにおける「農業監視・助言システム強化プロジェクト（SAMAS）」の開始式に参加しました。このプロジェクトは、令和6年度補正予算（TICAD パッケージ）により日本政府が支援したものです。式典には、柴田大使が出席したほか、ラタン・ミリシッチ WFP エチオピア事務所長、小出 NEC XON グローバルシナジー創造部門部長、ソマリ州より関係各局の代表者が同席しました。

本案件では、ゴダ、東イメイ、ドロアド、ドロベイ、ボコロマヨ、アダディレの6郡において、NEC の人工衛星を利用したリモートセンシング技術を活用した農業監視とそれに対する助言、サポート体制を強化する予定であり、150 万米ドルを WFP に対して拠出しています。

なお、本年 2025 年 8 月 20 日から 22 日に横浜で TICAD 9 が開催予定であり、「アフリカと共に革新的な解決策を共創する」とのスローガンを掲げています。

